

令和4年度 第2回学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 下呂特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和4年10月31日(月) 9:30~11:30
- 3 開催場所 下呂特別支援学校 多目的室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者
オブザーバー 田口 広宣 下呂市副市長
会 長 細江 節子 下呂市単位民生委員児童委員協議会
副会長 目次 丈太 佐橋工業株式会社
委 員 田口 久和 下呂市小川区長
長谷川 和正 株式会社ハウテック
今井 広一 加子母むらづくり協議会
井口 フキ子 益田山ゆり園
今井 悠香 下呂市障がい者生活相談センター
奥田 あゆみ 下呂市福祉部こども家庭課
二村 和仁 下呂特別支援学校PTA会長

学 校 側 駒田 武彦 校長
安田 明弘 事務長
熊崎 礼子 教頭
上村 篤 小中学部主事
原 るみ子 高等部主事
新屋 郁子 教務主任

5 会議の概要(協議事項)

(1) 授業参観の感想及び意見について

意見1: 児童生徒が元気で明るく、挨拶がしっかりできている。小学部から高等部へと成長していく様子が分かり、伝える力が年齢とともに上がっている。

意見2: 教員が熱心に指導しており、一人一人に合った丁寧な支援をしている。

意見3: 個に応じた教材・教具が工夫されており、タブレット端末を使用する授業もあり、昨年の課題に基づいた改善が見られる。

意見4: 高等部の作業学習での学びが、社会自立につながっている。作業工程の中で正確さが意識されており、責任感が育まれている。

意見5: コロナ禍により校内での活動が充実し、絆の強さやチームワークのよさを感じられる。

意見6: 不調となった児童生徒に対して、パーテーション等による環境的配慮があり、また、防災に関する配慮もあった。

意見7：卒業後の生活では、ハード面、ソフト面での差があることを念頭に置いて、指導を継続してほしい。

意見8：人権に対する世の中での意識は高まっている。小学部段階からの「～さん」呼称を徹底してほしい。

(2) 学校評価アンケート結果と分析について

- ア 小学部保護者について
- イ 中学部保護者について
- ウ 高等部保護者について
- エ 全校保護者、学校運営協議会委員について
- オ 中学部生徒、高等部生徒について

(3) 本校体育施設開放について

- ア 岐阜県県有施設予約システムにおける本校紹介ページ案について

(4) 作業製品の価格設定について

意見1：新製品7点について、参考製品の価格と比較して設定に問題はない。企業から依頼された製品については、原価率を考慮するともう少し値段を上げてよい。

意見2：今後、原材料の高騰を意識した価格設定が必要になる。

(5) その他

- ア 創立10周年記念事業について

意見1：学校周辺の環境整備について、地域としても取り組んでいきたい。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、各協議事項について全委員より承認を得ることができた。

今回の会議では授業参観を実施し、学習環境や児童生徒への指導について委員の理解を深めることができ、参観後の意見を通して、卒業後の生活を見据えた教育の必要性を再確認することができた。教育活動の具体的な姿を発信することは今後も必要である。

また、学校評価アンケートの結果と分析の説明では、全委員の理解と賛同を得ることができた。「わからない」という評価が一定数ある項目について、以下のように取り組んでいく。

- ・いじめに関する項目については、学校での取組を分かりやすく伝える保護者向け資料の作成を検討する。
- ・PTA活動に関する項目については、多くの参加につながる活動の充実を図り、活動内容について通信やホームページでタイムリーに発信していく。

今後も理解や賛同を得られた取組をさらに検討し、改善を図っていきたい。